

2022年3月24日

日本船主協会 海事人材部

海技者への道を後押し

～東京海洋大学海洋工学部 1年生を対象とした講演会を実施～

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

活動の一環として、この度、2022年2月22日(火)に、東京海洋大学海洋工学部 海事システム工学科、海洋電子機械工学科の1年生を対象に講演会を実施しました。

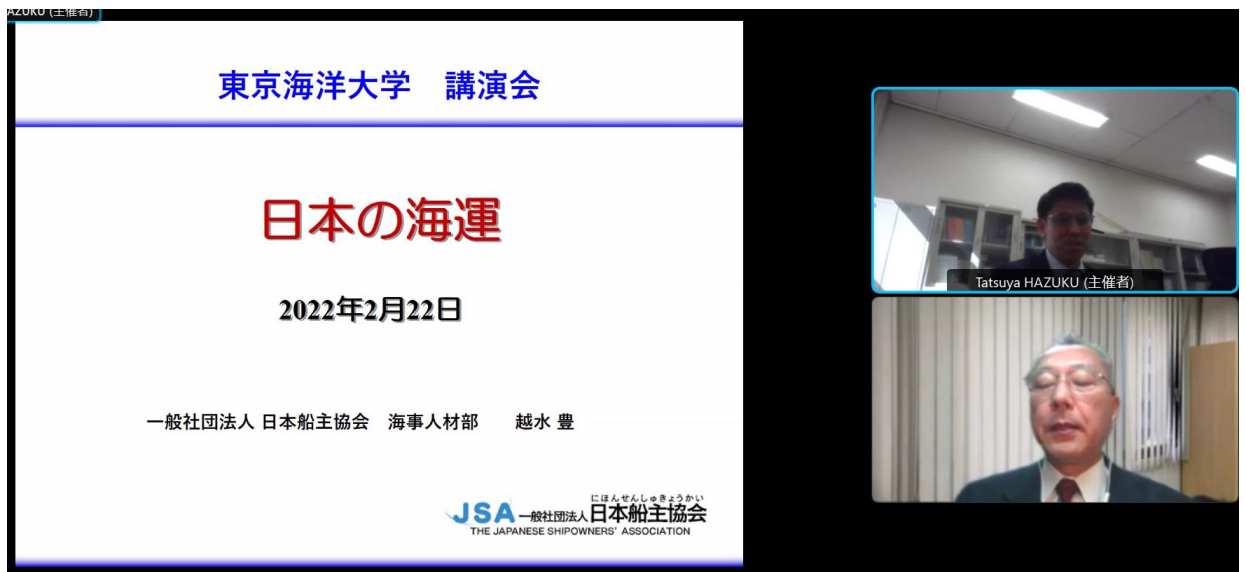
本講演会は、多くの学生に海運の役割や海技者の魅力を伝えることを目的としており、今年度で12回目の開催となりました。

例年は学科・学年ごとに開催している講演会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、オンラインにて両学科の1年生合同実施となりました。

講演では日本の海運業界についての説明を行った後、航海士・機関士の業務やキャリアパスや、学生生活で今やるべきこと、等について説明しました。

講演後の質疑応答においては、講演内容も踏まえ、学生から「新人船員に求めること」や、「英語力は陸上、海上どちらでも必要となるのか」、「海運バブルといわれる運賃高騰の原因は何か」、「新型コロナウイルス感染症による採用への影響はあるのか」、「練習船と比較して社船の船内生活環境はどのようなものか」、「経済安全保障に関する外航海運業界の対応」、「自社養成プログラム出身者がいる中で、商船系大学出身の新入社員に求められること」、「取得すべき資格」について等、様々な質問があり、参加学生が海運業界で働くことをイメージする一助となった様子でした。

人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していきます。



講演会の様子（画面並び順に）

東京海洋大学 波津久教授

日本船主協会 海事人材部長 越水